

# 米価暴落、政府は緊急対策を

千葉	ふさおとめ他	7500	▲3500
	ふさこがね	7300	▲3500
	コシヒカリ	9000	▲3000
茨城	あきたこまち	7800	▲2200
新潟	一般コシヒカリ	12000	▲1700
	岩船コシヒカリ	12000	▲1700
	魚沼コシヒカリ	14200	▲2500
	こしいぶき	9000	▲2700
富山	コシヒカリ	10500	▲1800
	てんたかく	9000	▲2200
福井	コシヒカリ	10000	▲2000
	ハナエチゼン他	8700	▲1800
石川	コシヒカリ	10000	▲2000
	夢みずほ他	8700	▲2300
滋賀	コシヒカリ	9000	▲3300
三重	コシヒカリ	9000	▲2700
	キヌヒカリ	8500	▲2200
愛知	コシヒカリ	9100	▲3300

注) 60kgの玄米1等価格。▲は2013年産から下がった価格。全国の平均生産コストは60kg 1万6000円

りました。柏崎刈羽原発からわずか2ヶ月のところに住んでいた吉田隆介さんが、中越沖地震の時の原発について分かりやすく説明し、「隣接に住む者として再稼働は絶対許せない」と決意を語りました。妊娠5ヶ月のお連れ合いとともに新潟県に避難して再稼ぎた水口さんは、被災直後の様子、その後の動きを生々しく語

上越市内でも五百万石など早生品種の収穫が始まりました。今年は生産者米価が暴落し、コスト割れの低水準になっています。「農政改革」で農業・農村の「所得倍増」をするという安倍内閣ではありますが、現実はその逆をいっています。関係農家からは、不安や怒りの声が出ています。

こうしたなか、農民運動新潟県連合会(鶴巻純一会長)はこのほど県内の全市町村議会にたいして「政府による緊急の過剰米処理を求める請願書」を提出しました。

請願書では、「今年から経営所得安定対策が半減され、米価変動補てん交付金も事実上、廃止されたもとで、今でさえ生産費を大幅に下回っている米価がさらに暴落するなら、再生産が根底から脅かされることになります。とりわけ、担い手層の経営への打撃ははかり知れない」「そ

もそも、この間の米価の下落は、2013年、2014年度の基本指針を決めた昨年11月の『食料・農業・農村政策審議会食糧部会』で、今年6月末在庫が2年前に比べて75万tも増える見通しを政府が認識しながら、何ら対策を講じてこなかったことにあら」とし、「過剰基調が明確になっているいま、政府の責任で需給調整を行なうのは当然のことであり、緊急に対策を実施する」よう求めています。

市議会では9月議会でこの請願を審査することになりますが、ぜひ採択を実現させたいものです。



もな集会・パレードが行われました。原発再稼働を許さない運動が全国に広がっています。柏崎で

## なくそテ原発 柏崎市で大規模集合・パレード



【オトコエシ】オミナエシ科の多年草。漢字で「男郎花」と書きます。いま、道ばたや山林の裾などで白い花を咲かせています。花言葉は「野性味」ですって。オミナエシに比べれば、力強い感じはします。



はしづめ法一の  
活動レポート

No.1672 2014.8.31  
発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず  
Tel 025-548-3628 吉川有線 4867  
通じないときは 090-5392-1961  
E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp  
URL http://www.hosei.jp/



ブログ  
「ホーセの見  
てある記」は  
← こちら

橋爪法一

検索

# 春よ来い

第三二〇回

町屋にて

もう何度も訪れているのにいつも違った空気が流れていると思ったのは私だけではないようです。二人の子どもが動き回る様子を見ながら、何人の人が「いいねえ」と言い、うれしそうな顔をしていました。

お盆を過ぎたある日、高田の仲町六丁目にある町屋、「ますや」には六十代の半ばになつた男女十数人が集つていきました。

この日は高校時代の同級生たちの暑気払いでした。少し遅れて「ますや」に到着した私が入つていくと、すでに宴会が始まつていました。家主の石塚正英さん、S組の恵一さんなどが一齊に私の方を向き、笑顔で迎えてくれました。正英さんのそばにはハロー・ワークに勤めている俊朗さん、柿崎ダム建設に携わつていた定道さんなどの姿が見えます。挨拶を交わしながら、私は正英さんのそばに席を用意してもらいました。

「ますや」での暑気払いは恒例になつていて、飲み物や食べ物がある程度持ち込み、わざかな会費で楽しんでいます。この日もワイン、ビール、珍しい島根県のお酒などが皿に入れて出されていました。右の前方には鍋も置いてあります。私が鍋に気付いたのとほぼ同時に、正英さんが、「今日は暑気払いだけど、温かいもので暑気払いするものいいだろ」ということになつておでんもあるんだよ」と紹介してくれました。お腹がすいていた私は枝豆や豆腐をいただきながら、みんなのおしゃべりに合流しました。私の斜め前には元金物屋の富佐子さんがいて、その奥には真知子さんやみつ子さんなどがいました。「あなたのブログに疲れたと書いてあるときがあるけど、頑張り過ぎなんじやない」と真知子さんが言い、高田の四九市（しくいち）で何度か会つた富佐子さんが、「私のことを分からなかつたことが二回あつたわよ」と言いました。真知子さんが連れてきた二人の孫さんの動きが活発になつてきたのは、私が普段、遠近、サングラスの三種類の眼鏡を使い分けて動いているという話をしている時でした。

おそらく二人ともお腹がいっぱいになり、遊びたくなつたのでしよう。

奥まで「通し土間」もあります。居間から二階に上がる階段も、階段を上がつた空間もあり、二階から一階を覗き込んでVサインをしたりしながらはしゃいでいました。子どもたちが「いいねえ」と建物全体がじつに生き生きとした感じがするのです。

私の隣の正英さんは、このタイミングで飯台の下から三本の団扇を取り出しました。三本とも数十年前のもので、一つは東本町一丁目の中沢酒店と書かれていました。もうひとつは「日本の夏、金鳥の夏」という文字と芸者さんの写真が入つたもの、残りの一本はいまは廃業して無くなつたお店のものでした。

家の中で子どもたちが遊んでいて、団扇がある。それだけならこの日の「ますや」でることは記憶から消えていったかも知れません。じつは、もうひとつありました。子どもたちがすんで私も含め何人かの肩をもんでもくれたのです。小さな手ではありますがとても気持ちがいい。いまこういう子どもがいるんですね。うれしかった。

## 吉川区の新たな保育園は旧総合センター跡地に



9月議会に今年度の一般会計補正予算が提案されます。配布された資料によると、歳入歳出予算総額に17億581万円を追加し、予算規模は1084億3271万円とするものです。

主な内容は、吉川区原之町に新たな保育園を建設するための調査・設計経費、農業者等の活動組織が行う農業用施設等の維持管理を支援するための多面的機能支払補助金、本年7月の豪雨に伴う災害復旧費などの補正です。

吉川区で予定されている統合保育園関連の予算は吉川区内の私立吉川保育園、市立中央保育園、市立旭保育園の3園を統合し、新たに建設する保育園の現況測量、地質調査、建築設計等の委託料1434万円が計上されました。

資料によると、建設場所は現在ある旧吉川総合センター（写真左上）の場所です。同センターは来年度に壊し、この跡地に建てるということです。新たな保育園は定員が100人程度で、建設は市が行う

ことになりますが、運営は社会福祉法人吉川福祉会が行うとしています。いわゆる公設民営方式です。

今後については、来年度に造成工事、建設工事（工事は28年度までの2カ年）を行います。平成28年度に外構工事、備品購入などを行います。開園は平成29年の4月です。写真は現在の旧吉川総合センターです。



「集団的自衛権行使容認の閣議決定撤回」を求めて請願書を提出した団体のひとことメッセージ集です。お読みになりたい方は橋爪までお知らせください。

## 上越地域各消防署における空間放射線量測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。

消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16 μSv(マイクロシーベルト)だとのことです。

	8月20日(水)	8月27日(水)
上越南消防署	0. 030	0. 036
上越北消防署	0. 043	0. 053
新井消防署	0. 050	0. 046
頸南消防署	0. 040	0. 040
頸北消防署	0. 043	0. 047
東頸消防署	0. 043	0. 056
高士分遣所	0. 043	0. 057
名立分遣所	0. 050	0. 046